



3. 教育課程

全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、これらの科目を通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修確認・訂正最終日（16:30）までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数 (上限)	評価	認定基準
総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／ 総合英語Ⅲ／ 英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／英会話Ⅲ	2	認定	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL iBT 42 点以上 72 点未満 TOEIC L&R 550 点以上 785 点未満 TOEIC S&W 240 点以上 310 点未満
	4	認定	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL iBT 72 点以上 95 点未満 TOEIC L&R 785 点以上 945 点未満 TOEIC S&W 310 点以上 360 点未満
	6	認定	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL iBT 95 点以上 TOEIC L&R 945 点以上 TOEIC S&W 360 点以上
中国語Ⅰ／中国語Ⅱ	2	認定	中国語検定試験 3 級以上
韓国語Ⅰ／韓国語Ⅱ	2	認定	韓国語能力試験 2 級以上
ポルトガル語	1	認定	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルト ガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

- 注意
1. この制度の運用は内規により行います。
 2. 既に単位認定された科目についての申請は認めません。
 3. 英語部門は、既にこの制度による単位認定を受けた資格より上級の資格を取得した場合、再度申請することができます。ただし認定単位数の合計は上級の資格による単位数を上限とします。

人文学部科目について

基礎演習

基礎演習は、1年次に基礎演習Ⅰ・基礎演習Ⅱを、2年次に基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳを学習するように構成されています。大学での学習全般に必要な基礎的内容を学習する必修科目です。本学の理念である共生の精神を基盤とし、新たな文化を創出し、世界へ発信できる人材を育成することを目標に様々な学習スキルを習得するための基本的な学びを展開していきます。20名前後で編成されるゼミが学習の基本単位です。

基礎演習Ⅰでは、4年間の大学生活の基礎を学ぶとともに、今後どのような領域の勉強を中心にしていくのかを担当教員とともにじっくり考えます。本学名古屋キャンパスにどのような施設があるのかに始まり、大学での勉強の仕方、特に、情報検索の方法、レポートや論文の書き方などについて基本を学習します。また、様々な本を読み、それについて考えたことを明確に他者に伝える方法について学びます。

基礎演習Ⅱでは、基礎演習Ⅰで身に付けたことを基礎とし、情報検索、文書作成、口頭発表などについてさらに深く学んでいきます。なお、基礎演習ⅠおよびⅡでは、少人数での学習のほかに1年生全員が参加する大教室での全体発表会という機会があります。

基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳでは、3年次からの専門演習に対する導入を行います。具体的な課題は担当教員によって異なるので、詳細は「シラバス」を参照してください。また、基礎演習Ⅳでは3年次からの専門ゼミ選択のために各専門ゼミの紹介などもあります。

専門演習

専門演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受け、各自の興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業研究へと発展させていく、重要な必修科目です。

人文学部の教員がそれぞれの専門分野を中心に指導します。「メディア・情報」「創作文芸・マンガ」「日本語・日本文学」「歴史・文化・国際」の4つの領域のうちで自分が中心に学びたい領域が明確な人は、専門性を追求するためにその領域の教員のゼミ（専門演習の授業）を選択するといいいでしょう。オープン履修というカリキュラムの特徴を生かして、広い分野にまたがってさまざまな領域の授業を履修することも可能です。

原則として各ゼミ15名以下で編成します。ゼミを自由に選択できますが、専門演習Ⅰ・Ⅱ（3年次）・専門演習Ⅲ・Ⅳ（4年次）は、原則として同じゼミに所属してください。

その他の注意事項

出席、試験方法、評価方法などは科目担当者によって異なる場合があります。「シラバス」に記載されていますが、わからないときには必ず科目担当者または教務課に相談してください。

領域について

すべての領域で資格・免許の取得が可能です。また、4つの領域の科目を自由に選ぶことができます。

メディア・情報領域

元放送局勤務など経験豊かな教員のもとで、メディア文化を研究します。学内スタジオを使用した映像制作実習では、より良い表現方法を模索します。新聞や放送、出版、広告のマス・コミュニケーションの理論について学びます。

創作文芸・マンガ領域

小説、詩歌、歌詞、シナリオ、児童文学、絵本、マンガなど幅広いジャンルの作品に触れ、現役作家の指導による「創作」にチャレンジします。文章を読み解く力、書く力、個性的な発想を磨くことで、創造する力を養います。

日本語・日本文学領域

日本語・日本文学・国語教育について深く学び、文章を読み解く力や論理的に思考する力を養います。また中学校・高等学校の教員免許（国語）の取得を支援します。

歴史・文化・国際領域

日本の文化や歴史、英語をはじめ諸外国の言語・文化を学び、多文化共生社会への理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を体得していきます。また学芸員、司書及び日本語教員などの資格取得も支援します。

卒業要件

東海学園大学人文学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

▼人文学部人文学科（H124生）

科目群	授業科目区分	④各科目区分において卒業に必要な修得単位数	⑤各群において卒業に必要な修得単位数	⑥卒業に必要な修得単位数
全学共通科目群	ともいき人間教育	必修4単位	25単位以上	124単位以上
	ともいき教養教育			
	ともいき実践教育	日本文化 ^注 から1単位以上		
	日本語	2単位以上		
	英語	必修6単位		
	情報			
	身体教育			
	外国語コミュニケーション			
	キャリア形成	必修4単位		
専門科目群	メディア・情報 創作文芸・マンガ 日本語・日本文学 歴史・文化・国際			
演習科目群		必修16単位		
免許・資格関連科目群	※卒業要件に含まれません。			

注：日本文化（書道）・（華道）・（陶芸）

- ① 人文学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群および演習科目群によって構成されています。科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。
- ② 卒業するためには、上の表の④⑤⑥すべての単位数条件を満たす必要があります。修得が必要な科目の詳細については、開講科目一覧表で確認してください。
- ③ 「免許・資格関連科目群」の単位は、卒業要件に含まれません。
- ④ 1年間で履修登録できる単位の上限は49単位です（「免許・資格関連科目群」の科目は除く）。

標準修得単位数

各年次終了時まで修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

次頁のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくても次の年次に進むことはできます。ただし、4年次終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各年次終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

1年次終了時：35単位以上

2年次終了時（2年間の合計）：70単位以上

3年次終了時（3年間の合計）：100単位以上

4年次終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

*上記の数値は各年次終了時における標準修得単位数です。この数値以上の単位修得をめざしてください。

*上記には免許・資格関連科目群の単位数は含まれません。

*卒業には、合計の単位数だけでなく、必修科目が修得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。

（注）就職活動等で必要な卒業見込証明書は、3年次終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。

開講科目一覧表

《表の見方》 「形態」欄： L = 「講義」 P = 「実験」「実習」「実技」等 S = 「演習」

▼人文学部人文学科（H124生）

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
人とも教い育き	共生人間論Ⅰ(ブッダと法然)	L	1	2			} 必修4単位
	共生人間論Ⅱ	L	3	2			
	共生人間論実習	P	2		1		
全学共通科目	自然環境と共生	L	1		2		}
	生物多様性と共生	L	1		2		
	生命の科学	L	1		2		
	生活と化学	L	1		2		
	栄養・食生活とSDGs	L	1		2		
	地球と災害	L	1		2		
	脱炭素社会	L	2		2		
	森林環境保全	L	3		2		
	持続可能な開発目標(SDGs)と共生	L	1		2		
	暮らしと経済	L	1		2		
	現代社会と生活	L	1		2		
	社会福祉学の基礎	L	1		2		
	多文化共生	L	2		2		
	市民社会と政治	L	3		2		
	世界の文化	L	3		2		
	憲法と基本権	L	1		2		
	社会生活と法	L	2		2		
	日本の文化	L	1		2		
	哲学の基礎	L	1		2		
	倫理学の基礎	L	3		2		
心のメカニズム	L	1		2			
日本の歴史	L	1		2			
世界の歴史	L	1		2			
日本の文学	L	1		2			
外国の文学	L	2		2			
ともいき実践教育	地域社会と共生A	P	1		1		} 選択必修1単位
	地域社会と共生B	P	2		2		
	地域社会と共生C	P	2		2		
	海外文化研修A	P	1・2・3・4		1		
	海外文化研修B	P	1・2・3・4		2		
	海外文化研修C	P	1・2・3・4		4		
	海外文化研修D	P	1・2・3・4		6		
	日本文化(書道)	P	1・2・3・4		1		
	日本文化(陶芸)	P	1・2・3・4		1		
日本文化(華道)	P	1・2・3・4		1			
日本語	日本語表現法A(音声)	P	1		2		} 選択必修2単位
	日本語表現法B(文章)	P	1		2		

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
全学共通科目群	英語	総合英語Ⅰ	L	1	1		} 必修6単位
		総合英語Ⅱ	L	1	1		
		総合英語Ⅲ	L	2	1		
		英会話Ⅰ	P	1	1		
		英会話Ⅱ	P	1	1		
		英会話Ⅲ	P	2	1		
		応用英語	P	3		1	
	情報	情報リテラシーA	P	1		1	
		情報リテラシーB	P	1		1	
		データサイエンス	L	2		2	
		プログラミング	L	2		2	
	身体教育	健康と運動	L	1		2	
		スポーツA	P	1・2・3・4		1	
		スポーツB	P	1・2・3・4		1	
		スポーツC	P	1・2・3・4		1	
	二外国語コミュニケーション	中国語Ⅰ	P	2		1	
		中国語Ⅱ	P	2		1	
		韓国語Ⅰ	P	2		1	
		韓国語Ⅱ	P	2		1	
		ポルトガル語	P	2		1	
キャリア形成	キャリアデザインⅠ	P	1	2		} 必修4単位	
	キャリアデザインⅡ	P	1	2			
	キャリアデザインⅢ	P	2		2		
	実践キャリア教育	P	2		2		
専門科目群	メディア情報	現代社会論	L	1		2	}
		メディア・リテラシー	L	1		2	
		メディア社会論	L	1		2	
		出版文化論	L	1		2	
		図書館概論	L	1		2	
		図書館情報資源概論	L	1		2	
		情報と著作権	L	1		2	
		映像制作Ⅰ	S	1		2	
		メディア史	L	2		2	
		マス・コミュニケーション論	L	2		2	
		学校経営と学校図書館	L	2		2	
		学習指導と学校図書館	L	2		2	
		生涯学習概論	L	2		2	
		情報技術論	L	2		2	
		情報サービス論	L	2		2	
		映像制作Ⅱ	S	2		2	
ジャーナリズム論	L	3		2			
放送文化論	L	3		2			
広告文化論	L	3		2			
学校図書館メディアの構成	L	3		2			

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
専門科目	メディア情報	視聴覚メディア論	L	3		2	
		読書と豊かな人間性	L	3		2	
		情報発信研究	L	3		2	
		メディア表現論	L	4		2	
	創作文学芸	マンガ学概論	L	1		2	
		マンガ制作 A	P	1		2	
		詩歌創作 A	P	1		2	
		詩歌創作 B	P	1		2	
		絵本研究	L	1		2	
		創作入門	L	1		2	
		ヤングアダルト文化研究	L	1		2	
		マンガ制作 B	P	2		2	
		マンガ講読	L	2		2	
		俳句創作	L	2		2	
		児童文学創作	P	2		2	
		キャラクター論	L	2		2	
		演劇文化論 A	L	2		2	
		演劇文化論 B	L	2		2	
		文学批評	L	2		2	
		マンガ研究	L	3		2	
		アニメーション研究	L	3		2	
		小説創作 I	P	3		2	
		小説創作 II	P	3		2	
		シナリオ脚本創作 I	P	3		2	
	シナリオ脚本創作 II	P	3		2		
	言語芸術論	L	3		2		
	メディア文化論	L	4		2		
	ファンタジー論	L	4		2		
	日本語群	文学と生	L	1		2	
		芸術表現	L	1		2	
		日本語学	L	1		2	
		日本語文法（現代語）	L	1		2	
		日本古典文学史	L	1		2	
日本近代文学史		L	1		2		
漢文学概論		L	1		2		
ベストセラー研究		L	2		2		
日本語文法（古典語）		L	2		2		
日本語史		L	2		2		
日本古典文学講読		L	2		2		
日本古典文学研究		L	2		2		
日本近代文学講読		L	2		2		
日本語音声表現（アナウンス）		L	2		2		
日本語音声表現（朗読）		L	2		2		
漢文学講読		L	2		2		
文章表現論	L	3		2			

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考	
				必修	選択	自由		
専 門 科 目 群	日本語・日本文学	語彙論	L	3		2		
		社会言語学	L	3		2		
		日本近代文学研究	L	3		2		
		書道及び書道史Ⅰ	P	3		2		
		書道及び書道史Ⅱ	P	3		2		
		漢文学研究	L	3		2		
		日本語教授法	L	4		2		
	歴史・文化・国際	メディア英語	メディア英語	L	1		2	
			フランス語と文化	L	1		2	
			英語表現Ⅰ	L	1		2	
			英語表現Ⅱ	L	1		2	
			日本史Ⅰ	L	1		2	
			博物館概論	L	1		2	
			民俗学	L	1		2	
			東洋思想	L	2		2	
			東アジア文化論	L	2		2	
			英語圏文化研究	L	2		2	
			English StoriesⅠ	L	2		2	
			English StoriesⅡ	L	2		2	
			日本史Ⅱ	L	2		2	
			日本美術史	L	2		2	
			地域文化論	L	2		2	
			日本考古学	L	2		2	
			国際文化論	L	3		2	
			古文書講読(くずし字入門)	L	3		2	
			日本文化と文化財	L	3		2	
			絵画論	L	3		2	
	博物館情報・メディア論	L	3		2			
	博物館実習Ⅰ(見学実習)	P	3		2			
	博物館実習Ⅱ(学内実習)	P	4		2			
	演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	S	1	2		} 必修16単位
			基礎演習Ⅱ	S	1	2		
			基礎演習Ⅲ	S	2	2		
基礎演習Ⅳ			S	2	2			
専門演習Ⅰ			S	3	2			
専門演習Ⅱ			S	3	2			
専門演習Ⅲ			S	4	2			
専門演習Ⅳ			S	4	2			
免許・資格関連科目群		教育原理	L	1		2		
		教職概論	L	1		2		
		教育制度論	L	1		2		
		教育心理学	L	2		2		
		特別支援教育	L	2		1		
		教育課程論	L	2		2		

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
免許・資格関連科目群	道徳理論と指導法	L	3			2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2			2	
	教育方法・技術論(ICT活用を含む)	L	2			2	
	生徒指導論(進路指導を含む)	L	3			2	
	教育相談	L	2			2	
	教育実習指導〔中・高〕	P	3~4			1	
	教育実習〔中学校〕	P	4			4	
	教育実習〔高校〕	P	4			2	
	教職実践演習〔中・高〕	P	4			2	
	国語科指導法Ⅰ	L	2			2	
	国語科指導法Ⅱ	L	2			2	
	国語科指導法Ⅲ	L	3			2	
	国語科指導法Ⅳ	L	3			2	
	博物館経営論	L	3			2	
	博物館資料論	L	2			2	
	博物館資料保存論	L	3			2	
	博物館展示論	L	2			2	
	博物館実習Ⅲ(館園実習)	P	4			1	
	博物館教育論	L	2			2	
	図書館制度・経営論	L	2			2	
	図書館サービス概論	L	2			2	
	情報サービス演習Ⅰ	P	3			1	
	情報サービス演習Ⅱ	P	3			1	
	情報資源組織論	L	1			2	
	情報資源組織演習Ⅰ	P	2			1	
	情報資源組織演習Ⅱ	P	2			1	
	児童サービス論	L	2			2	
図書館サービス特論	L	3			2		
日本語教育実習	L	4			1		